

市町村の森林政策

令和元年4月に「森林経営管理法」が施行され、市町村では、災害防止や地球温暖化防止など森林の公益的機能の維持増進の観点からも林業の成長産業化や森林資源の適切な管理が求められます。

この研修では、森林管理における市町村の役割の理解、先進事例などを通じた具体的な取組事例などをもとに、森林の公益的機能の維持増進のために必要な森林管理のあり方などについて考えます。

研修のポイント

- 国内の森林・林業における現状と課題について理解します。
- 森林施策に関係する法や制度について学びます。
- 森林環境譲与税の活用について考えます。
- 持続可能な森林経営の手法や事例について学び、これからの森林政策について考えます。

開催要領

日程

令和5年8月30日(水)～9月1日(金) (3日間)

場所

全国市町村国際文化研修所 JR京都駅より湖西線約15分 唐崎駅下車徒歩約3分

対象

森林政策に携わる市町村等の職員

3日間全日程をご受講いただける方を対象とします。途中退所や一時帰庁はできませんのでご注意ください。
※議員及び行政と協働実績のあるNPO職員の方も参加可能ですが、本研修は市区町村職員を対象とした研修のため、実務的な内容となっておりますのでご注意ください(自治体の現状や施策を基に、グループで討議をしていただく時間もあります)。また、申込人数によっては受講をお断りすることがありますので、予めご了承ください。なお、議員の方は、必ず議会事務局を通じてお申し込みください。

募集人数

40人 募集人数を大幅に超えた場合は、申込期限後に抽選等をさせていただきますので、予めご了承ください。
なお、受講者の決定については、他の研修、セミナーの申込み・受講の有無にかかわらず、本研修単独で行います。

宿泊

研修所宿泊棟(宿泊型研修) ※外泊はできません。

経費

10,200円 左記金額は、研修、宿泊、食事(朝食2回、昼食2回、夕食2回)、資料等にかかる費用です。
なお、事前準備・事前学習及び最終日の昼食にかかる費用は含まれておりません。

申込期限

令和5年7月7日(金)まで

申込方法

JIAMホームページ内「研修Web申込みフォーム」からお申し込みください。

議員の方は、**議会事務局を通じて**お申し込みください。
[Web申込み]が不可能な場合は、受講申込書によりFAXでも受け付けています。
※受講申込書はJIAMホームページの書類様式集(<https://www.jiam.jp/doc/>)に掲載しております。

受講決定

受講の可否については、開講日の約1か月前を目途に通知をお送りします。
経費納入方法等の手続きについては、受講決定通知書によりお知らせします。

事前課題

研修受講にあたって、事前課題に取り組んでいただく予定です。詳細は受講決定通知書送付時にお知らせします。

問い合わせ先

公益財団法人 全国市町村研修財団 **全国市町村国際文化研修所(JIAM) 教務部**

〒520-0106 滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号 TEL.077-578-5932 FAX.077-578-5906

[e-mail] kenshu@jiam.jp [ホームページ] <https://www.jiam.jp>

令和5年

8月

30日(水)

11:00~

入寮受付・昼食

12:30~

開講・オリエンテーション

13:00~14:30

講義 森林経営管理制度と森林環境譲与税について

林野庁森林利用課森林集積推進室 室長 福田 淳 氏

5年目を迎えた森林経営管理制度と森林環境譲与税について、最新の動向や活用促進に向けたポイントなど、各地の事例も紹介しながら、ご講義いただきます。

14:45~17:00

講義 森林管理における市町村の役割

東京農工大学 名誉教授 土屋 俊幸 氏

森林経営管理法の施行によって、地域における森林の経営管理に自治体が大きく関わることが求められています。この講義では、地域における森林経営・管理の現状や課題を理解し、今後の市町村における役割や森林政策のあり方について学んでいきます。

17:30~

交流会 夕食を兼ねて、ともに学ぶ受講者同士の親睦(情報交換・交流)を深めます。

9:25~10:35

事例紹介① 地域課題の解決に向けた森林政策の展開

栃木県矢板森林管理事務所林業経営課 副主幹 津布久 隆 氏

里山林管理に関する多くの知見をもとに、全国各地の優れた取組を紹介していただくとともに、これから望まれる森林環境譲与税の用途の方向性について学んでいきます。

10:50~12:00

事例紹介② 有田川町における森林経営管理制度の取組[※]

和歌山県有田川町産業振興部林務課 主任 児玉 晋平 氏

協議会方式の地域連携によらず、県の支援組織の活用や森林組合への業務委託を通じて、適切な森林管理を進めておられる有田川町の取組についてご紹介いただきます。

13:00~14:10

事例紹介③ 田原本町×川上村～森林整備等に係る上下流連携の取組～[※]

奈良県田原本町住民環境部環境未来推進課 調整員 中尾 澄子 氏

奈良県川上村林業建設課 副課長 松本 直 氏

奈良県川上村水源地課 主事 加藤 満 氏

田原本町と川上村は、令和4年2月に「田原本町と川上村との森林整備等の実施に関する連携協定」を締結し、飲料用水や農業用水を通じて深い関係がある川上村所有の森林を田原本町が整備し、その森林を活用した事業(森林整備・カーボンオフセット事業、森林環境教育事業、木材利用促進事業など)を協力して実施されています。連携協定を締結した経緯や取組の概要について、それぞれの視点からお話いただきます。

14:25~17:30

演習 グループ討議／意見交換[※]

受講者同士で各自治体の取組や課題を共有し、それぞれの自治体に合った効果的な施策や事業の実施方法について考えます。

[※]事例紹介②・③、演習 コーディネーター: 栃木県矢板森林管理事務所林業経営課 副主幹 津布久 隆 氏

9:25~12:00

講義 林業政策の展望

鹿児島大学農学部農林環境科学科 教授 寺岡 行雄 氏

森林経営管理制度が始まり、今後、市町村の担う業務がますます拡大することが見込まれます。この講義では、自治体等の林業ICT導入に関わられたご経験をもとに先進的な取組をご紹介いただくとともに、効率的な業務遂行のための林業ICTによる支援策についてご講義いただきます。

12:00~12:30

ふりかえり、研修アンケート記入、閉講

令和5年

9月

1日(金)

● 研修内容については、都合により変更になることがありますので、予めご了承ください。なお、研修についての最新情報は、JIAMホームページをご覧ください。

JIAMメールマガジンのお知らせ

当研修所では、メールマガジンを発行しています。各研修に関する最新情報などを定期的にお知らせします。ぜひご登録ください。読者登録は、JIAMホームページで受け付けています。